



6月に全面開園した辻村植物公園で

## こんなまちにすみたいな



東富水小学校1年

石井 華

(市制50周年記念作文コンクール市長賞)

わたしの、いえは、れんしょうじに、あります。いま、いえのまわりは、くかくせいで、ひろいみや、きれいなこうえんや、いえが、ではじめました。

まえは、たんぼと、おがわと、ほそいみちと、おじいちゃんが、よくつりをしていたところ、おおきなきがあるだけでした。二ねんまえの、ふゆに、ブルドーザーや、ショベルカーがきて、たんぼや、おがわに、どんどんつちが、はいつてしまいました。そして、たいらになりました。おばあちゃんが「かえるや、むしのこえが、きこえなくなったら、さびしいね。」と、いいました。

いつも、じんじやから、きこえてきた、ふくろうのこえが、いつのまにか、きこえなくなりました。おとうさんが「きつと、たべものが、なくなつて、ここには、すめなくなつたのだから。」と、おしえてくれました。

いま、わたしの、いえのまえの、こうえんには、まいにち、おともだちが、たくさん、あつまつて、あそんでいます。いぬを、つれた、おじさんや、おばさんも、とおります。みちには、じどうしゃも、たくさんとおるよりに、なりました。このまえきんじよの、おにいさんが、じてんしゃにのつて、こうつうじこに、あつてしまいました。オートバイもうるさいです。

みちが、きれいになつて、わたしは、じてんしゃや、りんしゃが、すぐに、のれるよりに、なりました。

べんりに、なつてうれしいのですが、この、どうろのしたに、とじこめられてしまった、ちいさな、さかなや、ざりがにのことを、おもうと、ちよつびりかなしいです。

ずかんには、どうぶつや、しよくぶつは、たすけあつて、いきていると、かいてあります。わたしの、いえの、まわりには、むしやさかなや、カエルやへびもいない、まちが、もうすぐできます。

どのいえにも、きや、はなを、いっばいうえて、たくさん、むしや、どうぶつたちといっしょにする、まちに、なつたらいいなあと、おもいます。

## 目次

- 市長と市民との座談会 ————— 2～3
- 市民が選ぶ小田原50選
  - 景勝 ————— 4～5
  - まちなみ ————— 6～7

- まつり・郷土芸能・名産 ————— 8～9
- 市制50周年の記念式典 ————— 10～11
- 年表50年の歩み ————— 10～11
- 市制50周年の記念行事 ————— 12

# 明日の小田原を語る

## 座談会

### 山橋市長と

### 満50歳を迎えた市民



山橋 敬一郎 市長



小林信雅さん(酒匂在住)



塩練雪子さん(蓮正寺在住)



榮 洋子さん(栢山在住)

市制五十周年を迎えたことを記念して、山橋市長を囲んでの座談会を開催しました。出席者は、市の誕生月と同じ昭和十五年十二月に生まれた市民の方から選ばせていただいた六人です。小田原で生まれ育った方や、仕事や結婚で移られてきた方とさまざまですが、明日の小田原の望ましい姿を感じたままにお話していただきました。

まずは、自己紹介をかねて小田原の印象をお気軽にお話してください。

石黒 私は、小田原で生まれ育ちました。まさに小田原っ子

と自負しています。家業は代々かまぼこ屋を営んでいます。私の住んでいるところは昔は漁師町で、砂浜も広く遊び場には事欠きませんでした。今も昔



石垣山一夜城歴史公園

も、まちはあまり変わっていないようですが、砂浜が狭くなったことが残念ですね。

伊興田 私が小田原に住み始めたのは中学生のときからで、今は、曾我梅林の近くで美容院をやっています。ここは、市街化調整区域なので、環境的にはあまり変わっていません。

昔と変わったことといえば、傘焼まつりや梅まつりが盛大になったことで、観光面では大きく変わりました。また、昔から人の出入りがありえないので、

人情が厚い代わりによその人を受け入れにくいところがあると感じています。

市 長 小田原にいらしてまだ間もない大川さんは、まさにどのような印象をお持ちですか。

大川 私は、教会関係の仕事で全国を転々としており、小田原に来てまだ三年です。まち全体の印象は、城下町という古い伝統のあるまちだと思います。

東京に近いので大きなまちだろうと思っていました。意外にこじんまりしていて、同時に

### 変わり始める小田原

#### 大学開校や駅前再開発も

市 長 私も小田原で生まれ育ちましたが、相対的にはあまり環境は変わっていないという印象の方が強いかもしれません。変わっているのは鴨宮と富水地区で、旧市内は全然変わっていないようです。

城下町ということで地域の結束が非常に強く、外のものを入れ替えるには受け入れなかったことや、新幹線が開通するまではわずかに通勤圏をはずれていたために、一時の首都圏膨張の波も及んでこなかったからでしょう。いわば、

独立国家のように自立して残ってきたのです。

しかし、新幹線が通るようになって小田原も変わろうとしています。来年四月には関東学院大学が開校しますし、これから工業団地の整備や小田原駅前の再開発が進むことでしょう。

石黒 是非、富士山が見えることや砂浜などの自然環境を残しながら発展してほしいですね。

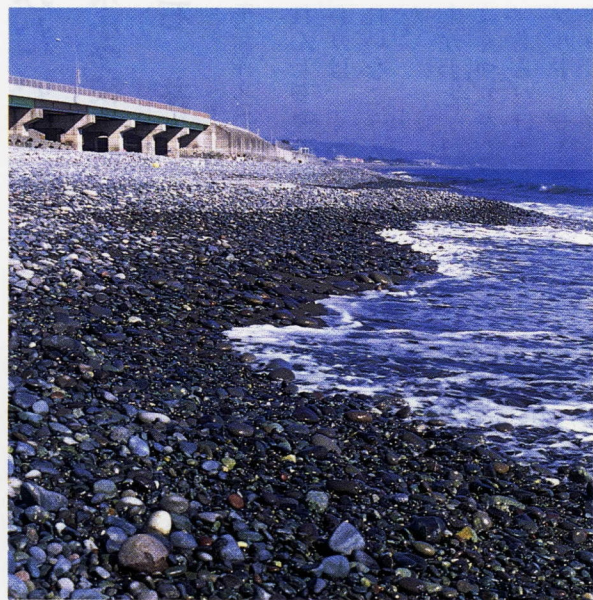
市 長 砂浜が狭くなっていることは、西湘バイパスや三保ダムなどができて浜に砂が堆積し

「向こう三軒両隣」という地域のコミュニティ意識が強く、隣近所の協力体制がしっかり残っていると感じました。

塩練 私も十年前に新潟からこちらに越してきましたが、富士山が見えるし新潟にいたときよりも自然が豊かで、自然とまちがともによく調和していると思いました。

また、新潟でやっていた本の読み聞かせグループをこちらでもみなさんの協力で作ることできて楽しく過ごしています。

なくなったことなどいろいろな原因が複合していますが、災害や景観の問題もありますので、海岸を管理している県に働き掛



美しい渚は守りたいもの(御幸の浜海岸)

けたところ、砂浜を少しでも増やそうという相当大規模な海岸保全計画が立てられ、時間がかかりますが望みは出てきました。

また、昔からの家では格式高いお祝いの風習が変わらずに残っているのには驚きました。

榮 私は小田原に嫁いで来て二十五年になりますが、育ったのが小田原に近い秦野で、子どものころは御幸の浜によく海水浴に

来たものです。今は砂浜は狭くなりましたが、これ以上狭くならないように守ってほしいですね。

保守的な土地柄だとお聞きしましたが、私はすんなり受け入れました。

市 長 住む地域によってまちの移り変わりの様子が違いますが、小林さんはいかがですか。

小林 小田原に来て二十五年になります。小田原で中学校の教師をしています。住まいは酒匂ですが、鴨宮の区画整理ができて随分発展しました。周囲は畑ばかりでしたが、今はみんな家が建ってしまいました。すごい勢いで増えたなあという印象です。

# 恵まれた自然・歴史・交通環境……

## 特性を生かしたまちづくりを

大川 私は、これから小田原

がどういう方向でまちづくりを進めていくのか、とても関心があります。都心の衛星都市として発展するのか、箱根という観光地の表玄関としてまちづくりを進めるのか。それによってはどうなるまちだと思いま

す。

市長 そうですね。小田原が持っている長所、小田原らしさを守るとともにいかに生かしていくかがまちづくりのポイントになります。一つは、海・山・川と三拍子そろった自然で、もう一つは歴史

史です。これを生かしていくこと

によっておのずと小田原の特色が出来上がってくるのではないかと思います。さらに、もう一つは交通環境が優れていることです。新幹線をはじめ五本の鉄道が通り、駅が十八もあります。特に、東海道線の駅が五つもあるのは全国で小田原だけです。これをうまく活用していきたいですね。

大川 そういう意味では、文化面の諸施設を小田原に造って恵まれた自然環境の中で活用してもらえば素晴らしいと思います。地の利を生かして、都心へ出掛けるのではなく、こちらへ呼んでしまうということです。

市長 そのとおりです。幸い、県が自然系博物館を生田に建設しますし、市でも人文系博物館を城址公園周辺に建てる計画です。

また、鴨宮地区に図書館新館



活力あふれるまちづくりを

榮 歴史はあるけれど、市民があまり自覚していないような気がします。まちを大事にしているためには、地域の催しの中で子どもだけでなく大人も含めて勉強する機会を持つことが必要だと思います。

市長 そうですね。小田原は歴史が豊かなまちなのですが、地元の人たちはそれをさほど意識していない。しかし、よその人から見るとそうではありません。たとえば、敵と味方の城があるまちなど全国どこにもありません。それだけでも、セールス・ポイントとして十分です。もう一度足許の歴史を見直して

みる必要があります。

もう一つ、地元の人が歴史遺産を大事にしなかった理由は、小田原は地震に何度も襲われて歴史の跡を大方失ってしまったためです。地震の影響が、小田原の歴史にとってマイナスに働いてしまったのです。

小林 地震も歴史の一つですね。これからの小田原の防災を考えると、地震の歴史を振り返ることも必要ですね。

市長 おっしゃるとおりです。市では今年から被害想定調査を始め、地盤を調べることによって確かな防災対策を立てようとしています。

体制をとりながら、さらに一回り大きな共同体としてまちづくりを進めてほしいですね。

塩 練 どんなに素晴らしい自然や施設があっても、そこに住む人々の心が貧しくてはよいまちにはなりません。心のゆとりを大切に、どんなときでもみんなと助け合い、力を合わせられるまちづくりを期待したいと思います。

市長 ほかのまちより地域の連帯や心のゆとりは残っているはずですから、これらを大事に育てていきたいですね。

小林 小田原は、教科書にも取り上げられるくらい歴史も産業も自然もある、たいへんバランスのとれたよいまちです。このバランスを保ちながら発展していくことを望みます。

### 心のゆとりを大切に

### 自然と調和のとれた発展を

——さて、最後にみなさんに小田原の将来についてひとことお伺いしましょう。

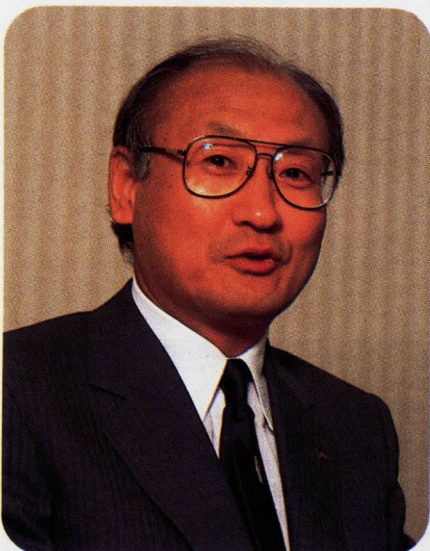
石黒 自然と歴史を守って発展するという方向を貫き、是非到達点までいってほしいと思います。

伊與田 このまちのすばらしい自然をなるべく壊さないで、上手に自然開発を進めていってほしいですね。

市長 そうですね。まちづくりは、便利さだけが価値ではないですからね。

大川 自然環境の保護を自然と人の共同体という考えで進めたいと思います。そして、小田原だけでなく近隣市町と協力

市 長 はい。今日は大変長い時間、ありがとうございました。みなさんの率直な意見を参考に、市制五十周年を二十一世紀への新たな出発点として、より大きな飛躍の契機にしたいと思います。



石黒駒士さん(城山在住)

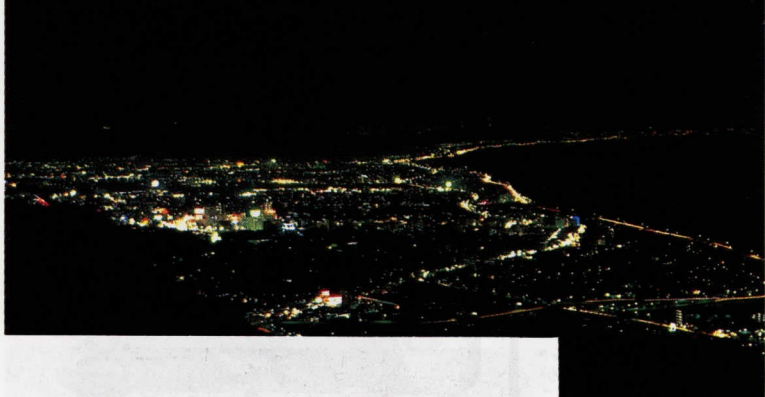


伊與田三千子さん(田島在住)

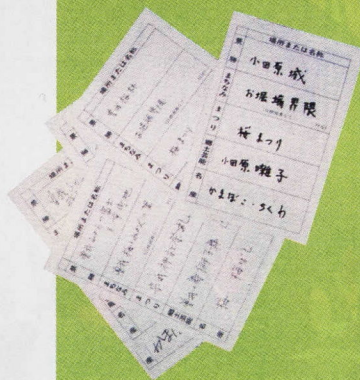


大川満さん(栄町在住)

### 石垣山一夜城跡と 小田原の夜景



## 市民が選ぶ小田原50選



北条時代以降の長い歴史のある小田原では、四季を通じてたくさんのまつりが催され、情緒あふれる町並みと新しい通りが共存しています。そこで、みなさんの投票をもとに、たくさんの方に親しまれている代表的な景勝、まちなみ、まつり、名産、郷土芸能の五つの項目からそれぞれ十ずつ選びだし「小田原50選」としました。ここで、それらをご紹介します。

# 景勝

▲歴史公園として整備された石垣山からは市街地が一望の下に望めます。

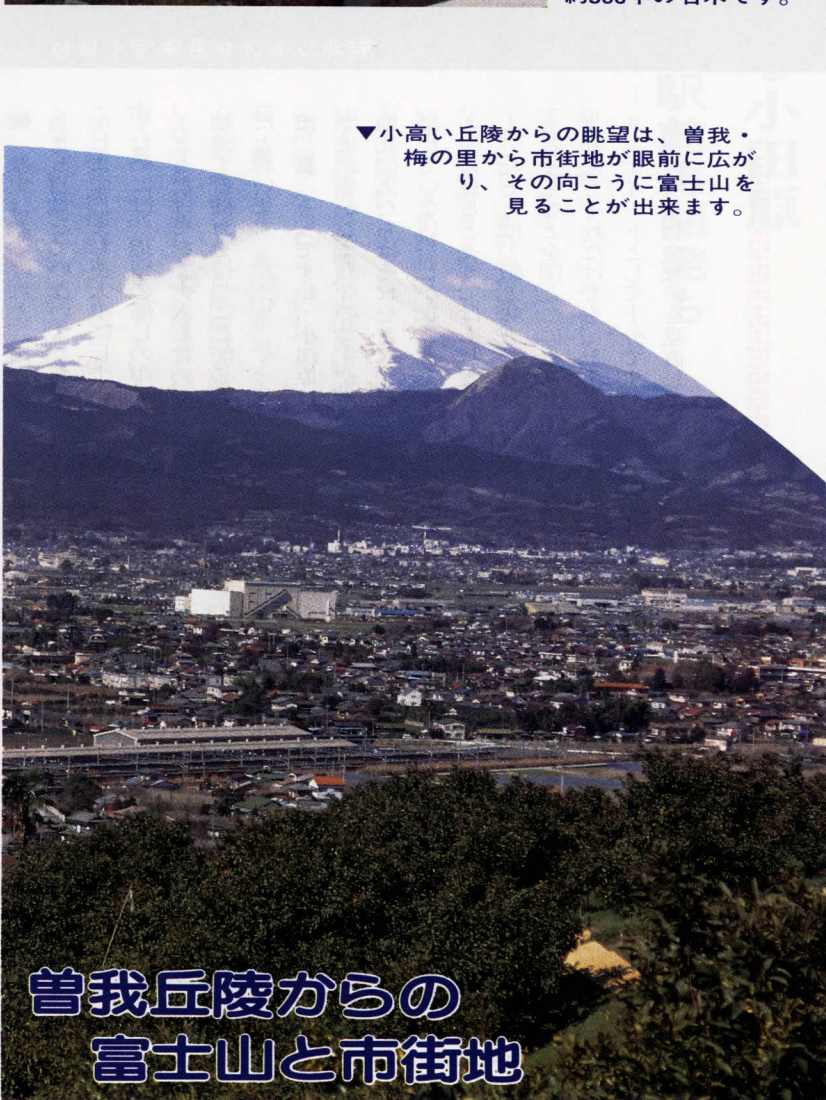
▼ヨーロッパや北アフリカ原産の珍しい植物があります。広くレクリエーションや自然学習の場として利用されています。

### 辻村植物公園



◀長興山では、しだれ桜が有名ですが、この桜は江戸時代の小田原藩主、稲葉氏が紹太寺を建立したころ境内に植えられたもので樹齢約300年の名木です。

### 入生田長興山



▼小高い丘陵からの眺望は、曾我・梅の里から市街地が眼前に広がり、その向こうに富士山を見ることが出来ます。

▶天守閣は、小田原のシンボルとなっています。本丸と二の丸、三の丸の一部が国の指定史跡となっています。下の写真は、今年4月に復元された住吉橋。

### 小田原城



### 曾我丘陵からの 富士山と市街地

### 酒匂川と松並木



▲市民のいこいの場所となっている酒匂川、はるかに富士山が望め、市の木となっているクロマツの並木がさわやかに迎えてくれます。



### 沼代の桜馬場

### 天守閣からの相模灘



▲昭和35年に復興された現在の天守閣からは、360度のパノラマ風景を見ることができます。中でも、市街地の向こうに広がる相模湾の眺めはとともすばらしいものです。

◀桜馬場は、王子神社の神前に奉納する競馬の馬場があったところで、桜並木が美しく、花の時期にはたくさんのお花見客でにぎわいます。



### 曾我梅林

▲曾我梅林には一目三万本といわれる梅の木があるとされています。花の時期にはたくさんのお花見客でにぎわいます。

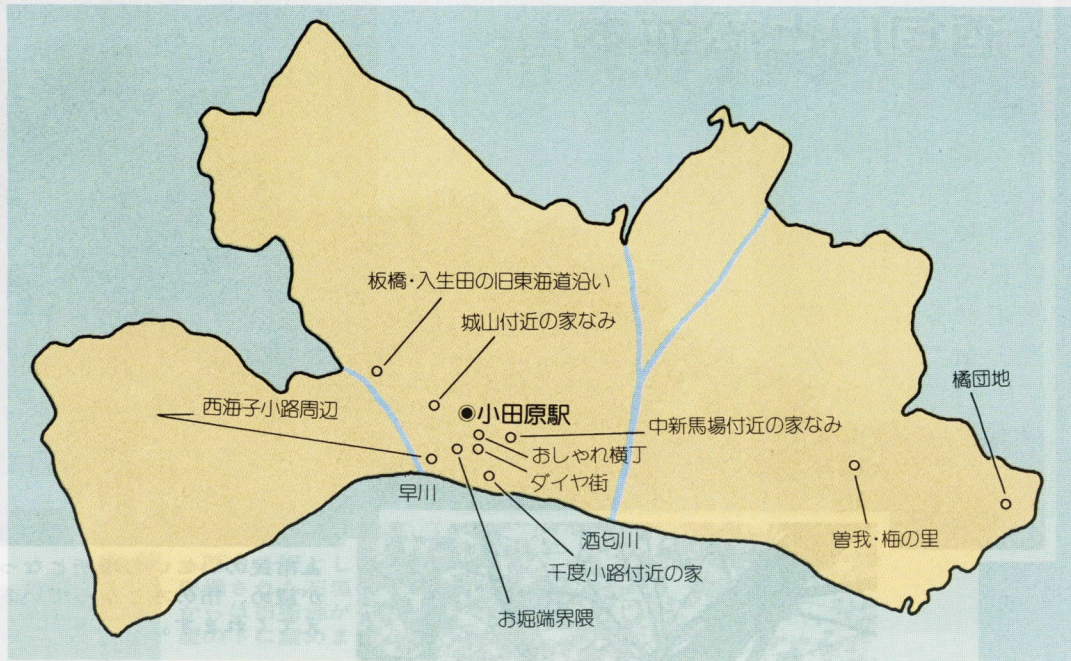


### 江之浦から見る小田原の海岸線

▲山が海にせまった江之浦地区からは、湘南海岸へと続く砂浜の美しい渚がはるかに続いているの一望することができます。



◀起源は小田原北条時代の漁村。今でも水産加工業の店が建ち並んでいます。



# まちなみ

◀新しい感覚のショッピングストリートで、明るくポップな飾り付けや清潔さが若い人に人気があります。

▶電線を地面の下に埋めて、大理石を敷き詰めた道路の現代的な商店街と、小田原城のお堀が隣り合う不思議な空間です。



▲馬場があったことに由来する地名の残るこの付近は、江戸時代の武家地の面影を今に伝えています。



▲大規模な土地開発によって整備された住宅街で、家なみのそろうた優れた環境の住宅街です。



# ダイヤ街



▲電線を地下に埋めて、道をカラー舗装した明るい雰囲気の商品街です。

▶地蔵尊で有名な板橋から風祭、入生田辺りの旧東海道は、昔ながらのつくりの町屋が残る懐かしい町なみです。

# 西海子小路周辺



▲昔の武家地だったこの付近は、玉砂利の歩道と桜の並木が美しい町なみを見せています。

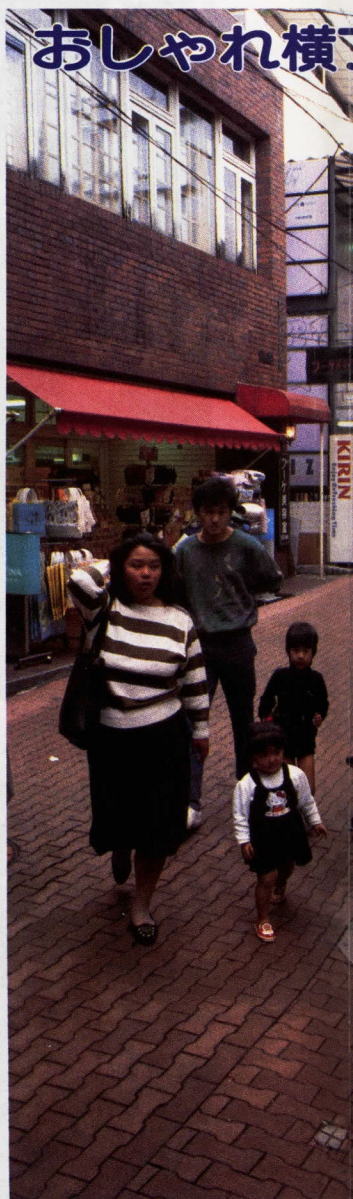
# 千度小路付近の家なみ



▶現在の位置に天守閣ができるまえに城館があったところです。小高い丘となっているこの辺りは、現在は静かな住宅街となっています。

# 城山付近の家なみ

# おしゃれ横



▼曾我兄弟のあだ討ちで有名な我は、梅とミカンの産地で、梅ミカンと人家が溶け合った素朴たたずまいを見せています。

# 板橋・入生田の旧東海道沿い



# 曾我・梅の里



# まつり



5月3日~5日

城址公園・市内

北條五代祭り



1・8月23・24日  
宗福院

板橋地藏尊

梅まつり



2月~3月上旬  
城址公園  
曾我梅林



7月下旬  
城址公園・市内

城下町小田原夏まつり



5月28日  
城前寺

曾我の傘焼まつり



8月12日  
御幸の浜海岸

おのだいまつ  
大松明・線香まつり



4月初旬  
城址公園

桜まつり

前川・久野の道祖神まつり



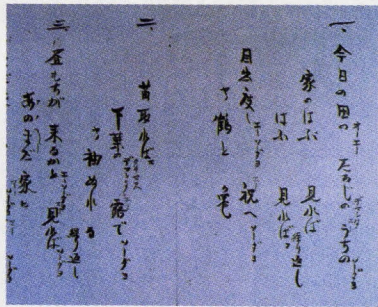
1月14日  
前川・久野地区(写真は前川)



小田原ちょうちん踊り

振り付けはやさしく、ちょうちんを手にリズムミカルに踊る

# 郷土芸能



栢山地区の田植え唄

古くから唄い継がれ、歌詞には鶴亀などのことは折り込まれている



12月6日  
秋葉山量覚院(市内板橋)

秋葉山の火防祭



ぶしや  
白髭神社の奉射祭



一種の神楽で豊年祝いに神社に奉納された獅子舞

曾我の寿獅子舞



12月17日・18日  
勝福寺

飯泉観音だるま市





小田原漆器

江戸中期に確立された漆塗り、木目模様を生かしたのが特徴



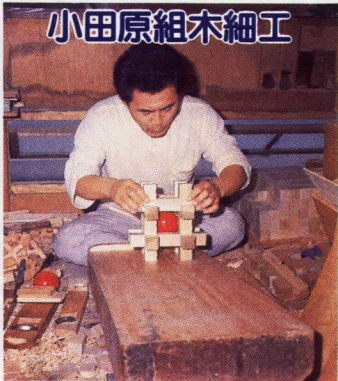
寄木細工・木ぞうがん

▲木材のもつ色を組み合わせた箱根・小田原の工芸品



江戸時代に箱根越えの旅人に携帯灯具として重宝がられた

小田原ちょうちん



小田原組木細工

木片を止め金具を使わずに組立てたり解体できる玩具



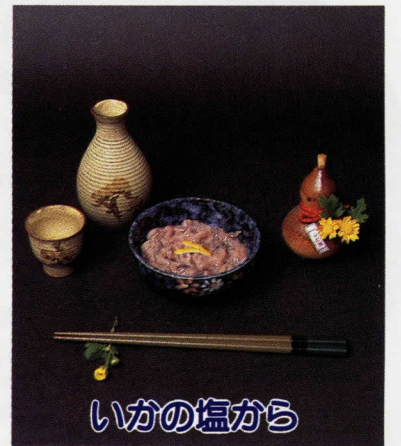
うめ・梅干し

▲北条時代ごろから作られたと伝えられ、果肉が厚く全国的にも有名



小田原の小木工品

▲伝統の木工技術を生かして、木地玩具など幅広く生産



▲漁業が盛んだった小田原で、江戸時代から土産物として生産

いかの塩から



小田原銘菓

▲梅の産地ならではのものや、城下町にふさわしい数々の郷土銘菓



かまぼこ・ちくわ

▲江戸時代から作られ、風味と歯切れがよく全国的にも有名

▲あじ・かますなどを保存食として開き干しにしたことが始まり



ひもの



北条太鼓

▲和太鼓奏者林英哲さん作曲総指揮の城下町小田原をイメージした新しい太鼓



根府川の鹿島踊

▲海に面したこの地域に伝わる神事舞踊(7月の第3日曜日・寺山神社)



小田原囃子

▲江戸祭ばやしの系統に属し、音曲は変化に富み独特の風格をもつ



箱根馬子唄・長持唄

▲箱根の山道を馬子やかごかが登り下りしたときの仕事唄

▲ブリ網などを揚げる時の仕事唄で、神社祭礼のときの儀式唄も兼ねる



大漁木遣唄



下申座の相模人形芝居

▲江戸時代から小竹地区に伝わる人形芝居

# 市制50周年記念式典の概要

## 市政功労者255人を表彰

### 明日の小田原を創造する決意も

昭和十五年に小田原市が誕生してから五十回目の市制記念日の十二月二十日、市民会館において「小田原市制五十周年記念式典」が開催されます。

この式典は、市勢の発展と市制施行五十周年の節目を市民のみならずとも祝い合うために行われます。また、先達市民の苦難と努力を顧み、その業績をたたえる感謝の場とすることも、二十一世紀に向けて新しい小田原を創造する決意を固めようというものです。

式典の第一部は、午前十時から新小田原市民歌で幕を開け、市勢の伸展や公共の福祉増進に功労のあつた方、市民の模範であると思われる方の表彰を行います。また、今は亡き名誉市民や市政功労者に

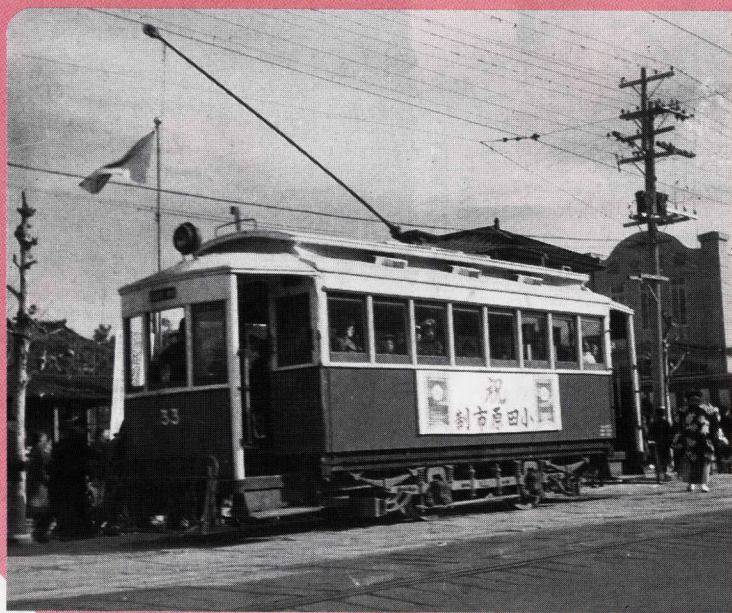
黙とうをささげ、その苦勞に感謝します。そして、来年で姉妹都市提携十年を迎えるチュラピスタ市長からのメッセージを発表します。

第二部では、この号で紹介しています「小田原50選」の発表が行われます。続いて、市内の小・中学生から「ゆたかな人・活力ある街・文化のかおる街小田原」というテーマで募集しました記念作文コンクールで市



市制10周年(昭和25年)

**こども文化博覧会**  
敗戦の混乱期、未来を担う子どもたちに夢と希望、文化的素養をとおもなかに夢と現在の遊園地や動物園も設置された。



市制施行(昭和15年)

### 市制を祝う電気鉄道

満州事変以来、緊迫の一途をたどる戦局のもと、小田原市は産声をあげた。市内を走る電気鉄道にも市制を祝う看板が。

長賞を受賞した九人のうち代表として、曾我小五年の高橋美里さんと白鷗中二年の吉田純子さんのお二人作文の朗読をしていただきます。

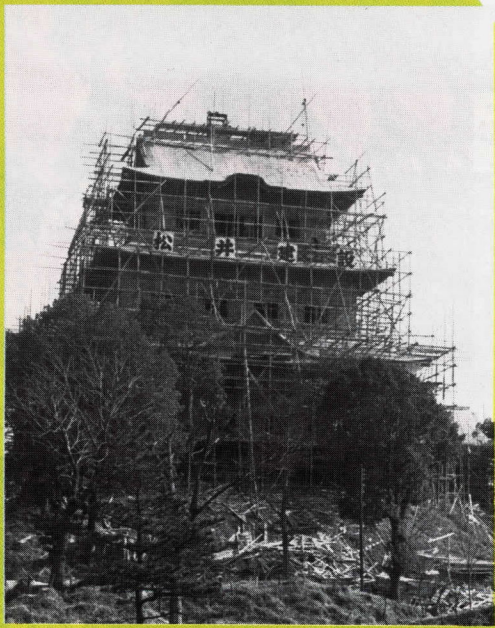
また、大ホール入口ロビーにおいては「小田原50選」のパネルと「歴史を振り返るパネル」の展示を行います。

なお、当日表彰を受けられるみなさんは次のとおりです。(敬称略)

#### 《特別表彰》

- 今井英龍 椎野恵一 船津常治 石黒明 莊司悦郎 吉田晴治 高村和雄 原修吾 石井富之助 譲原嘉市 望月正道 眞壁賢二 山口武利 池田六郎 杉崎正 今井徳左衛門 廣澤富正

### 市制20周年(昭和35年)



#### 小田原城天守閣の復興

明治3年に取り壊されて以来、市民の夢だった天守閣の復興。90年ぶりに、3層4階の複合式天守閣が完成した。

- 山田末雄 井上正子 中河 與一 小澤孝蔵 磯崎公美 小田原少年少女合唱隊 小田原喜代治

- ◆消防功勞
- 林栄太郎 渡辺郷作 古宮 俊夫 遠藤武 青木好太郎 小澤隆 原正廣 竹井善作 奥津喜代治

- ◆社会福祉功勞
- 平塚光之 細谷政五郎 杉浦惠二 上村光三郎 岩崎常吉 田代兼太郎 朝倉一郎 小澤婦貴子 三村房子 田中令 須田光子 乃美晃界 天利俊明 杉崎武夫 富澤芳郎 鏡持武郎 上柏一二三 鏡持賀津美 鈴木博 枝野行枝 大場千代子 小田原市赤十字奉仕団 小田原市点訳赤十字奉仕団 小田原市遺族会 小田原録音奉仕会 社団法人 小田原青年会議所

#### 《一般表彰》

#### ◆教育文化功勞

- 石井佐一 光山樹太郎 鈴木三成 妻木麟夫 横田七郎 小田原市文化団体連絡協議会 劇団こゆるぎ座 佐々井典比古 志村宗男 鈴木栄吉

#### おだわら

## 50年のあゆみ

昭和15~24年	昭和25年~34年	昭和35年~44年
一九四〇(昭和15年)12月 小田原町・足柄町・大窪村・早川村・酒匂村の一部(山王原・網一色)が合併して市制を施行する	一九五五(30) 1月 郷土文化館を開設 8月 城山庭球場が完成 10月 城山陸上競技場が完成 10月 第10回国民体育大会が神奈川県で開催され、小田原が軟式庭球とソフトボール競技の会場に	一九六七(42) 6月 鴨宮駅南部土地区画整理事業に着手
一九四一(16) 3月 第1回小田原市議員選挙が行われる	一九五七(32) 7月 国府津海水プールが開設 11月 星崎記念館が完成。図書館・児童文化館として開館	一九六四(39) 12月 久野靈園の建設が始まる 一九六五(40) 5月 市民会館本館が完成 一九六六(41) 4月 第1次住居表示整備事業を実施(栄町・中町・浜町・城内・本町・南町)
一九四二(17) 4月 市紋章を制定 4月 第1回小田原市長選挙が行われる 4月 下府中村が小田原市と合併する 8月 第1回市営競輪を開催 10月 城内野球場が完成 4月 小田原市報第1号を発刊	一九五三(28) 12月 天守台復旧工事が完成 7月 豊川村が小田原市と合併 12月 酒匂町・国府津町・上府中村・下曾我村・片浦村が小田原市と合併する	一九六〇(35) 5月 小田原城天守閣の再建工事が完成(市制20周年記念) 9月 二宮尊徳生家を誕生地に移築 4月 新小田原市民歌が決まる 7月 市民会館が開館
一九四五(25) 4月 小田原市報第1号を発刊 10月 こども文化博覧会を開催。遊園地・動物園を開設(市制10周年記念)	一九五四(29) 12月 酒匂町・国府津町・上府中村・下曾我村・片浦村が小田原市と合併する	一九六二(37) 4月 新小田原市民歌が決まる 7月 市民会館が開館
一九四七(22) 4月 第1回小田原市長選挙が行われる 4月 下府中村が小田原市と合併する 8月 第1回市営競輪を開催 10月 城内野球場が完成 4月 小田原市報第1号を発刊	一九五二(27) 12月 中央公民館が完成 12月 桜井村が小田原市と合併 12月 中央公民館が完成 12月 天守台復旧工事が完成	一九六三(38) 9月 二宮尊徳生家を誕生地に移築 4月 新小田原市民歌が決まる 7月 市民会館が開館

市制30周年(昭和45年)



小田原城の常盤木門を再建

小田原城の城門の中で一番格式の高かった常盤木門を復元。天守閣と好一対の白壁が周囲の緑に美しく映える。(昭和46年5月お城まつりの大名行列)

- ◆市長賞
  - 東富水小一年・石井華「こなまににすみたいな」
  - 新玉小二年・大塚雅代「わたしのすむ町」
  - 久野小三年・石綿絵美「こんな坊所に住みたいな」
  - 下中小四年・保田奈津子「わたしのふるさと」
  - 曾我小五年・高橋美里「私の大好きな街小田原」
  - 東富水小六年・加藤大己「大切にしたいもの」
  - 白山中一年・森田由子「小田原の自然をいつまでも」
  - 白鷗中二年・吉田純子「私の好きな小田原」
  - 橘中三年・井上達彦「より良い小田原」
- ◆教育委員長賞
  - 片浦小一年・高杉志奈
  - 東富水小二年・松尾綾子
  - 下府中小三年・山口美紗子
  - 富水小四年・細田明子
  - 富士見小五年・松村寿直
  - 足柄小六年・安藤 法
  - 千代中一年・隅田安希子
  - 白山中二年・平手 文
  - 城南中三年・阿部智佳子
- ◆教育長賞
  - 久野小一年・笠原深幸
  - 桜井小二年・布施直樹
  - 久野小三年・栗原志保
  - 大窪小四年・杉崎はづき
  - 城内小五年・碓井真吾
  - 大窪小六年・綾部まどか
  - 千代中一年・久保寺康博
  - 白山中二年・河合一美
  - 千代中三年・早瀬ふみ

「ゆたかな人 活力ある街 文化のかさなる街 小田原」 記念作文コンクールの入賞者

- ◆市長賞
  - 東富水小一年・石井華「こなまににすみたいな」
  - 新玉小二年・大塚雅代「わたしのすむ町」
  - 久野小三年・石綿絵美「こんな坊所に住みたいな」
  - 下中小四年・保田奈津子「わたしのふるさと」
  - 曾我小五年・高橋美里「私の大好きな街小田原」
  - 東富水小六年・加藤大己「大切にしたいもの」
  - 白山中一年・森田由子「小田原の自然をいつまでも」
  - 白鷗中二年・吉田純子「私の好きな小田原」
  - 橘中三年・井上達彦「より良い小田原」
- ◆教育委員長賞
  - 片浦小一年・高杉志奈
  - 東富水小二年・松尾綾子
  - 下府中小三年・山口美紗子
  - 富水小四年・細田明子
  - 富士見小五年・松村寿直
  - 足柄小六年・安藤 法
  - 千代中一年・隅田安希子
  - 白山中二年・平手 文
  - 城南中三年・阿部智佳子
- ◆教育長賞
  - 久野小一年・笠原深幸
  - 桜井小二年・布施直樹
  - 久野小三年・栗原志保
  - 大窪小四年・杉崎はづき
  - 城内小五年・碓井真吾
  - 大窪小六年・綾部まどか
  - 千代中一年・久保寺康博
  - 白山中二年・河合一美
  - 千代中三年・早瀬ふみ

小学生の描いた小田原の未来(ときめき小田原まつりの会場で)



- ◆保健衛生功勞
  - 山室勇雄 山本秀典
  - 栗原忠夫 村田久 小澤俊男
  - 津田修二 石井敏和 戸沢孝 鈴木重光 高橋謙作
  - 高橋忠興 安西順一 吉田義幸 小西正通 鈴木益年
  - 山岡純夫 社団法人小田原医師会 社団法人小田原歯科医師会 社団法人小田原薬剤師会
  - 本場房江 原美佐子 山川・久野川をきれいにする会 小田原市食生活改善推進団体
- ◆産業経済功勞
  - 中村伊兵衛 穂坂正義 石綿忠 大曾根助太郎 椎野正 柳川福太郎 平元貢 榎本一雄 柳田敏雄 久保田昭雄 鈴木義雄 久保田穰 中戸川幸四郎 山田満造 小田原市梅研究会 小田原蒲鉾水産加工工業協同組合
  - 石川健三 内田定次 柏木一郎 塩海義勝 蘭部弘 露木清次 露木保 山中成

- ◆善行
  - 赤岩賢三 秋山光男 岸達志 桑原妙子 下津圭子 神保好雄 杉崎順一 中野正夫 中村静夫 丸山誠吾 峯尾信一 岩本政治 高橋雅美 本多隆 田中宏和 小田原ライオンズクラブ 小田原白梅ライオンズクラブ 小田原松風ライオンズクラブ 小田原ロータリークラブ 小田原北ロータリークラブ
- ◆土木建設功勞
  - 小田原市土木建設協同組合 小田原市管工事協同組合 小田原市建築協同組合 小田原市電設協力会

- 一クラブ 小田原城北ロータリークラブ 小田原中ロタリークラブ 国際ソロブチミスト小田原 小田原寿司商組合 小田原そば商組合 建技会 MOAチャリティー障害者募金実行委員会 宗教法人普明会教団 小田原支部 小田原市環境緑化協会 学校法人明德学
- 園相洋高等学校 株式会社オタワラオリコミサービス 株式会社ナック中村屋 東京電力株式会社小田原営業所 中泉商事株式会社 小田原信用金庫 辻村克良 松岡宏明



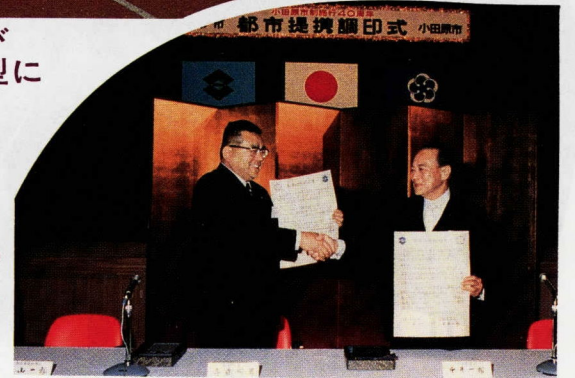
市制40周年(昭和55年)

新中央公民館の開館 540人収容のホールや図書室・視聴覚室・和室などを備え、社会教育の拠点施設に。



城山陸上競技場が全天候型に

栃木県今市市と姉妹都市の提携を



昭和55年~58年

昭和45年~54年

年表その2

一九八三(58)	4月	市体育協会が発足	一九八二(57)	1月	小田原木工団地が完成	一九七二(47)	2月	「緑と水の豊かな住みよい都市」を目指す総合計画の基本構想を策定	一九七四(49)	3月	社会福祉センターが開館	一九七六(51)	7月	市民憲章を制定。市の木「くろま」市の花「うめ」が制定される
	4月	豊川小学校が開校	12月	酒匂川流域下水道左岸処理場が運転開始	5月	森林レクリエーション施設「こいの森」オープン	10月	第4次住居表示整備事業(扇町)	11月	公設青果地方卸売市場が開場	11月	市役所の新庁舎が完成	11月	小田原駅前広場と地下街が完成
	5月	ラピスタ市と海外姉妹都市提携を結び	11月	アメリカ合衆国カリフォルニア州チュラビスタ市と海外姉妹都市提携を結び	11月	小田原市史編さん事業始まる	12月	市営斎場が完成	12月	西湘バイパスが全面開通	12月	市営斎場が完成	12月	小田原スポーツ会館が完成
	9月	「目で見る小田原のあゆみ」の16ミリ映画が完成(市制40周年記念)	10月	旧松永記念館を郷土文化館分館として開館	12月	新中央公民館が完成(市制40周年記念)	10月	第3次住居表示整備事業(城山)	10月	新御幸の浜プールが開場	10月	小田原城常盤木門を復興(市制30周年記念)	10月	橋町と合併
	7月	城址公園のお堀浄化事業を開始(市制40周年記念)	7月	城山陸上競技場の全天候型改修工事が完成(市制40周年記念)	7月	高田浄水場が一部完成し操業を開始	7月	高田浄水場が操業開始	7月	高田浄水場が一部完成し操業を開始	7月	高田浄水場が一部完成し操業を開始	7月	高田浄水場が一部完成し操業を開始
	4月	国府津公民館が開館	4月	小田原スポーツ会館が完成	4月	第2次住居表示整備事業(寿町・東町)	4月	市水産市場が操業開始	4月	市水産市場が操業開始	4月	市水産市場が操業開始	4月	市水産市場が操業開始

# 市制50周年の記念行事



▶北条太鼓の初披露(4月28日)

和太鼓奏者の林英哲が小田原をイメージして創作。市民有志が練習に励み、ときめき小田原まつりのオープニングで初演奏、まつりに華を添えた。

小田原が市制を施行してから、今年でちょうど五十年を迎えました。また、豊臣秀吉が北条氏を攻略して全国を平定するきっかけとなった天正十八年の小田原合戦からは四百年目。そして、アメリカ合衆国カリフォルニア州チュラビスタ市と姉妹都市提携をしてから十年目に当たります。これらを記念して「ときめき小田原まつり」と銘打ち、四月二十八日のオープニングセレモニーを皮切りに、本日の「小田原市制五十周年記念式典」まで、多彩なイベントを繰り広げてきました。

一九九〇年—小田原市は、市制施行五十年を迎えました。天正十八年(一五九〇)の小田原合戦からは四百年目、そして、来年はアメリカ合衆国カリフォルニア州チュラビスタ市と姉妹都市提携をしてから十年目、これらを記念して「ときめき小田原まつり」と銘打ち、市民のみならずにも多彩なイベントを開催してきましたので、ご紹介いたします。

のみなさんの積極的な参加をいただき、小田原の魅力を広くアピールする機会とすることができました。来年の「国際交流祭」が、ときめき小田原まつりの最終イベントになります。このイベントにより、小田原市がさらに海外との接点となるよう、開かれた国際化社会を目指します。多数のみなさんのご協力をお願いします。ここでは、「市制施行五十周年記念イベント」と「小田原合戦四百年記念イベント」の中から主な事業をご紹介します。



▶メインホール(4月~9月)

壁面に再生紙でできた「紙管」323本を使用した、世界初のユニークな建築物として注目を浴びた。



▶戦国関東三国志(5月6日)

戦国時代、関東の覇を争った武田信玄、上杉謙信、北条氏康。この三英傑が本拠を構えた甲府、上越、小田原の三市長が一堂に会し「小田原会盟」を行った。

▶辻村植物公園(6月2日)

昭和62年から整備を進めてきた辻村植物公園が全面オープン。市民が自然と触れ合える憩いの場に。



▶小田原球場オープニング(10月6日)  
上府中公園の最初の施設として球場がオープン。式典後、プロ野球イースタンリーグ(大洋対西武)が行われ、観客の声援を浴びた。

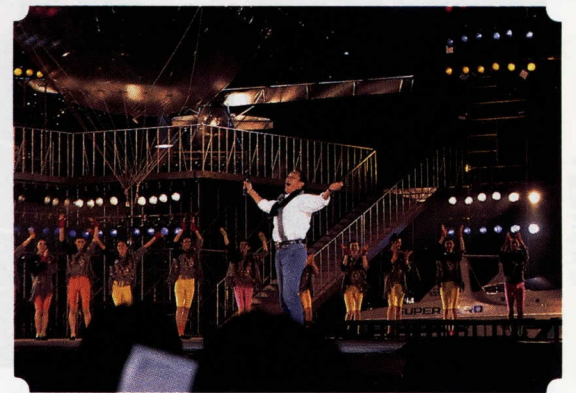


▶大間一夜城跡大茶会(4月29日~5月6日)

秀吉は小田原合戦の際、千利休とともに茶の湯をたしなんだという。その石垣山一夜城跡に趣向を凝らした茶席が設けられ、往時をしのんだ。

▶KANSAI FASHION SPECTACLE WAOH! 天・地・水(5月13日)

やまもと寛斎総指揮による、ライブ演奏あり、ダンス、コーラスありの世界初のミックスメディア・ファッションショー。



## 昭和58年~平成2年

### 年表その3

- 一九八三(58) 9月 第一回小田原新能が開催される
- 一九八四(59) 6月 城山陸上競技場の新管理棟が完成
- 8月 新坂呂橋が完成
- 一九八五(60) 3月 市立病院の全面改築工事が完了
- 4月 富士見小学校が開校
- 4月 建築確認等の認可事務が県から委譲される
- 一九八六(61) 1月 防災行政用無線が全市域で整備完了し、放送を開始する
- 3月 市水道創設50周年
- 3月 小田原駅浜町線が全面開通
- 4月 野崎幻庵愛用の茶室「葉雨庵」が松永記念館の庭園内に移築・復元される
- 6月 新総合計画「小田原21世紀プラン」を議会で決定
- 一九八七(62) 7月 小田原城二の丸中堀の石垣復元工事を開始
- 9月 二宮尊徳生誕200年記念行事「えいど小田原」を開催
- 一九八八(63) 5月 尊徳サミットを開催
- 6月 尊徳記念館の改築工事完成
- 8月 独居老人緊急通報システムを開始
- 12月 小田原駅西口東町線の鉄道立体交差が完成
- 12月 保健センターがオープン
- 一九八九(平成元年) 4月 情報公開制度がスタート。行政情報センターを設置する
- 7月 キャブテンシステムで情報提供を開始
- 11月 関東学院大学小田原キャンパスの起工式を挙行
- 12月 さわやかエプロンサービス事業を開始
- 一九九〇(2) 4月 石垣山一夜城跡が歴史公園として整備完了する
- 4月 小田原城二の丸中堀の住吉橋が復元される
- 4月 ときめき小田原まつりが開幕
- 6月 辻村植物公園が全面開園
- 8月 音声応答サービス「おだわらくらしのテレフォンガイド」スタート
- 10月 上府中公園の小田原球場がオープン
- 12月 市民が選ぶ小田原50選決定
- 12月 市制施行50周年記念式典を挙行政